

学校や公民館など、教育施設の
整備や運営に使われるお金

教育費

項目	予算額	対前年比較
保健体育費	4億1,356万円	-5,646万円
社会教育費	2億2,230万円	+3,133万円
教育総務費	1億8,716万円	+1,180万円
幼稚園費	1億2,431万円	+2,827万円
小学校費	1億1,497万円	+819万円
中学校費	6,705万円	-1億213万円
計	11億2,935万円	-7,900万円

橋や道路、公園や排水路な
どの整備に使われるお金

土木費

項目	予算額	対前年比較
住宅費	4億5,194万円	+3億6,997万円
都市計画費	4億3,046万円	+5,105万円
道路橋りょう費	2億4,034万円	+1,638万円
土木管理費	3,599万円	-143万円
河川費	152万円	+49万円
計	11億6,025万円	+4億3,646万円

高齢者、障害者、子ども、ひとり
親福祉などに使われるお金

民生費

項目	予算額	対前年比較
社会福祉費	11億107万円	+865万円
児童福祉費	9億2,571万円	-9,671万円
国民年金費	938万円	+147万円
計	20億3,616万円	-8,659万円

消防施設の整備費や、
消防組合の負担金

消防費

項目	予算額	対前年比較
消防費	4億2,263万円	+1,832万円

農家支援や水路整備など
農業振興に使われるお金

農林水産業費

項目	予算額	対前年比較
農林水産業費	1億9,209万円	-6,617万円

町内の商工業者などの
支援に使われるお金

商工費

項目	予算額	対前年比較
商工費	1億3,016万円	-2,375万円

町議会の運営など
に使われるお金

議会費

項目	予算額	対前年比較
議会費	1億1,343万円	-2,479万円

予備費・その他

項目	予算額	対前年比較
予備費	2,000万円	±0万円
その他	1,293万円	-34万円

ごみ処理や母子保健、検診などに
使われるお金

衛生費

項目	予算額	対前年比較
保健衛生費	5億6,704万円	+118万円
清掃費	4億5,948万円	-4,541万円
上水道費	48万円	-13万円
計	10億2,700万円	-4,436万円

選挙や税金の徴収、広報誌の発行
など、行政運営に使われるお金

総務費

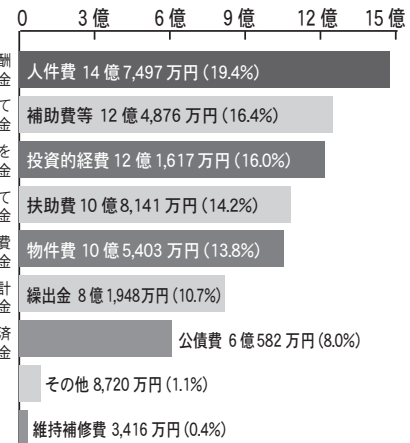
項目	予算額	対前年比較
総務管理費	4億6,396万円	+1,826万円
徴税费	2億996万円	-3,180万円
戸籍住民基本台帳費	9,496万円	-656万円
選挙費	143万円	-4,144万円
統計調査費	141万円	+10万円
監査委員費	46万円	±0万円
計	7億7,218万円	-6,144万円

町債(借金)の返済に充てられるお金

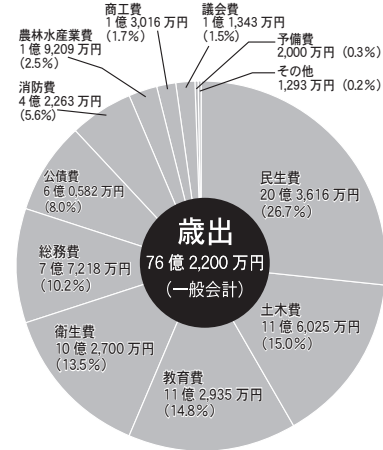
公債費

項目	予算額	対前年比較
公債費	6億582万円	+766万円

歳出 76億2,200万円の性質別内訳



()内は構成比



歳入は生活、福祉面では、福祉医療費助成
制度や地域生活支援事業の拡充などの諸
事業に取り組みます。産業振興面では、地産地
消費や商工団体育成支援事業の継続や、中小
企業融資制度などの利用促進を図ります。

土木面では、「町道幹線19号線」や「同25
号線」、「町道16-13号線」などの整備を推進し、
交通網の整備と交通弱者に配慮した道づくりを
推進します。また、町営住宅を建設するととも
に、一般個人木造住宅の耐震改修にかかる補助
制度を広く周知し、安全で安心して住むことので
きる、まちづくりを進めます。

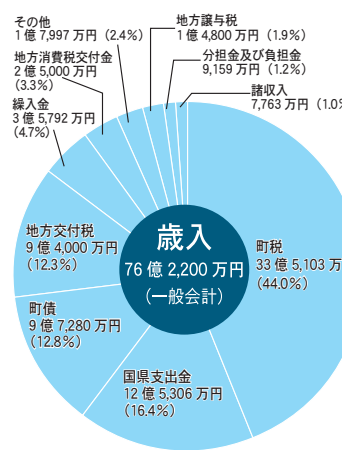
教育面では、中野東小学校屋上防水工事や長
柄小学校のプールの改修など、急を要する補修
などを進めます。長柄幼稚園の改築に向けた実
施設設計も行い、町民体育館、武道館、邑楽町公
民館の耐震補強・改修工事なども実施します。

歳出の性質別内訳

町の支出を経済的な性質に分けて集計したものが、歳出の性質別内訳です。人件費・扶助費・公債費の合計額が義務的経費。これらは、法令により支出が義務づけられているなど、容易に削減できないという意味で、義務的経費といわれています。参考までに、邑楽町の義務的経費は、31億6,219万8,000円(歳出全体の約41%)です。前年度が33億90万8,000円、1億3,871万円の削減となっています。

町税 町が独自に集められる税金

項目	予算額	対前年比較
固定資産税	18億2,523万円	-7,663万円
町民税	11億8,000万円	-1億4,099万円
町たばこ税	1億8,000万円	+4,800万円
都市計画税	1億797万円	-553万円
軽自動車税	5,783万円	+116万円
計	33億5,103万円	-1億7,399万円



歳入は、経済情勢が大変厳しいことから、法人
町民税や固定資産税の減収を見込む推計を見
ました。一方で、個人町民税は例年程度に回復が見
込まれることなどから、33億5,103万円、対前年度
比4.9%減としました。

地方交付税は、対前年度比9.4%増の9億4,000
万円を見込みました。町債は、前年度比2億350万円、
26.5%増の9億7,280万円ですが、そのうち実質的
な地方交付税である臨時財政対策債が5億6,000万
円を占めています。また、公共施設等整備基金など
から3億5,792万円繰り入れられました。

一般会計予算前年度比1.0%増

76億2,200万円

- 町では予算編成に当たり、次の3点に留意しました。
- ① 経常経費などのさらなる削減を図り、効率的な財政運営に務め、より一層努力すること
- ② 公共施設の耐震化など、町民の生命を守り、福祉の向上に寄与する事業については、中長期的な展望を踏まえ、ある程度優先的・積極的に取り組むこと
- ③ 補助金などを最大限活用しながら、なお不足する部分については、財政の健全性に最大限配慮しながら、地方債の発行や各種基金の活用などを図ること

国県支出金 町が行う仕事に対し、国
や県が出す補助金など。
使い道はあらかじめ決められている

項目	予算額	対前年比較
国県支出金	12億5,306万円	+7,255万円

地方交付税 国から配分されるお金。
自治体間の財政格差を縮
め、全国どこでも必要最低限の生活ができる
ようにするのが目的

項目	予算額	対前年比較
地方交付税	9億4,000万円	+8,100万円

町債 町の借金。一時的に大きな支
出が必要な時や、将来の町民
も経費を負担するのがふさわしい場合
に、決められた手続きで借りたお金

項目	予算額	対前年比較
町債	9億7,280万円	+2億350万円

「その他」の内訳

項目	予算額	対前年比較
使用料・手数料	6,494万円	-285万円
繰越金	5,000万円	±0万円
地方特例交付金	2,900万円	-1,000万円
自動車取得税交付金	2,000万円	-600万円
利子割交付金	600万円	+140万円
交通安全対策特別交付金	460万円	-20万円
配当割交付金	400万円	+220万円
株式等譲渡所得割交付金	100万円	-100万円
財産収入	43万円	-90万円
計	1億7,997万円	-1,735万円

特別会計

特別会計については、全会計
の合計で、60億2,107
万円、対前年度比4.6%
減としました。

※特別会計 特定の事業
を行うために、歳入・歳
出を一般会計と区分して、
経理する会計です。

項目	予算額	対前年比較
国民健康保険	28億6,980万円	+1億69万円
後期高齢者医療	2億1,124万円	+2,618万円
介護保険	16億4,989万円	+1億1,401万円
下水道事業	2億9,573万円	-4,814万円
学校給食事業	2億7,470万円	-4億4,944万円
水道事業	7億1,971万円	-3,360万円
内(収益的収入)	5億1,950万円	±0万円
外(資本的支出)	2億21万円	-3,360万円
計	60億2,107万円	-2億9,030万円

繰入金 基金(預金)から繰り入れるお
金。預金を下ろすようなもの

項目	予算額	対前年比較
繰入金	3億5,792万円	-7,033万円

地方消費税交付金 消費税のうち、地方自
治体に交付されるお金

項目	予算額	対前年比較
地方消費税交付金	2億5,000万円	±0万円

地方譲与税 国が国税として集めたお
金を、地方自治体に配分

項目	予算額	対前年比較
地方譲与税	1億4,800万円	-400万円

分担金及び負担金・諸収入

項目	予算額	対前年比較
負担金及び分担金	9,159万円	+128万円
諸収入	7,763万円	-1,666万円

ポイント 自主財源と依存財源
財源の違いは何?

自ら財源を徴収できるから、区別され
ます。地方税、手数料・使用料金、
財産収入などが自主財源。ほかの意
思決定により交付される地方交付
税、地方譲与税、国県支出金、地方
債などは依存財源です。
●邑楽町の自主財源と依存財源
自主財源 39億9,354万円(52.4%)
依存財源 36億2,846万円(47.6%)



▶ 財政に関する問合せ先 役場総務課 ☎ 47-5004

Closeup 予算

平成 24 年度のまちの
「新規・拡充事業」を
一部紹介します。

民生費

巡回支援専門員整備事業 500万円

発達障害などに関する専門員を配置して、保育園、幼稚園、集団検診などの子どもや親が集まる場へ巡回し、施設などを担当する職員や親に対し、障害の早期発見や早期対応のための助言や相談を行います。



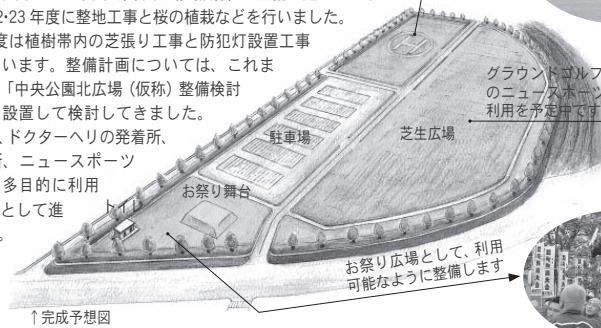
民生委員児童委員活動事業 248万円

少子高齢化が進むなか、多様化するニーズに対応するために、民生委員児童委員との協働の地域づくりの推進を図っていきます。

土木費

おうら中央公園北広場整備事業 1,870万円

役場庁舎の北側にある中央公園北広場（仮称）の整備を進めています。平成 22-23 年度に整地工事と桜の植栽などを行いました。平成 24 年度は植樹帯内の芝張り工事と防犯灯設置工事を予定しています。整備計画については、これまでに役場内に「中央公園北広場（仮称）整備検討委員会」を設置して検討してきました。お祭り広場、ドクターヘリの発着所、緊急避難所、ニュースポーツの利用など多目的に利用できる広場として進めています。



ドクターヘリの
発着所として、
利用予定です



グラウンドゴルフなど
のニュースポーツの
利用を予定中です



お祭り広場として、利用
可能なように整備します



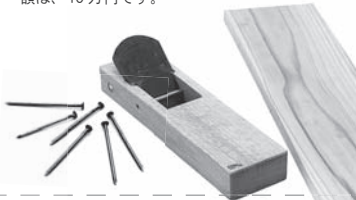
↑完成予想図

商工費

商工支援事業 （住宅リフォーム補助金） 200万円



町内建築関連業者の振興を図ることを目的として、町内に所有し居住する住宅のリフォーム工事を、町内施工業者で行った場合に補助金を交付します。補助額は、工事費（消費税を除く 20 万円以上）の 5/100 で、補助限度額は、10 万円です。



↑完成予想図

町営住宅建設事業 4億 3,646 万 2,000 円

石打町営住宅の建て替えを行います。鉄筋コンクリート造 3 階建て、平成 24 年度に 1 棟（24 戸）、平成 25 年度に 1 棟（23 戸）の建設を予定しています。

間取り > 1 人以上上部屋（約 30 m）× 6 戸 > 1 人以上上部屋（約 36 m）× 3 戸
> 2 人以上上部屋（約 48 m）× 12 戸 > 3 人以上上部屋（約 61 m）× 3 戸

消防費

災害対策事業 167 万 7,000 円

東日本大震災を受け、町では防災のマニュアル作りを進め、「邑楽町地域防災計画」の見直しを行っています。



→設置から 41 年
が経過し、老朽化
が進んでいる屋外
有線放送設備

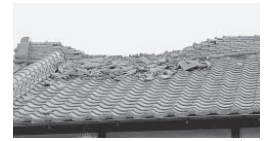


防災行政無線整備 1 億 5,100 万円

現在使用している屋外有線放送設備は昭和 46 年に整備。町内 47 か所に支柱とスピーカーを設置し、広報を行っています。老朽化が進んでいるため、新たに防災情報通信施設の整備を行います。

※この事業は平成 23 年度からの繰越事業です。

東日本大震災対策事業 500 万円



東日本大震災で、家屋の屋根瓦などに被害がでた町民の皆さんに、見舞金支給事業を行います。



教育費



臨時補助教員等配置事業 8,008 万 2,000 円

幼稚園・小学校・中学校に臨時職員を配置します。相談員、学校指導助手、学校支援員、学校図書係、用務員などを配置し、児童生徒の学習活動や、生活の指導・支援をきめ細かく行っていきます。

長柄幼稚園改築事業 1,394 万 9,000 円

今年度に長柄幼稚園の改築工事に向け実施設計を行います。来年度に工事を行い、安全で快適な学びの環境を整備します。



↑年長組の園舎

町民体育館及び武道館耐震補強・改修等事業 2 億 2,824 万 8,000 円

町民体育館と武道館の耐震補強工事、アスベスト除去工事などを行います。



邑楽町公民館耐震補強・改修等事業 3,783 万 2,000 円

邑楽町公民館の耐震補強工事と、アスベスト除去工事などを行います。



↑町民体育館



↓武道館



予算執行に当たっては、より一層の事務事業の見直しや、新たな時代に即応した合理化を進めていきます。